

スモン患者の皆様へ

新型コロナウイルスの世界的な流行が続いています。

現在（令和3年2月）第3波の只中であり、多くの自治体で緊急事態宣言が発令されています。一方でワクチン接種の準備が進んでいます。

このウイルスに感染すると、高齢者や基礎疾患を有する者は重症化しやすいことが判っています。スモン患者さんは、まさにこれに該当しますので十分にお気をつけください。三密（密集・密接・密閉）を避け、不要・不急の外出を控え、マスク着用・手洗い励行、手指の消毒等感染予防を行い、お過ごしいただきますようお願いいたします。

昨年7月に新型コロナウイルスの流行が療養生活に及ぼす影響についてアンケートを行いました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

この時点で、スモン患者さんの中にはコロナに罹患した患者さんはいませんでした。ただし、「診療に影響あり」が22%、「日常生活への影響あり」が43%、「健康状態の変化あり」は35%という結果でした。

受診やリハビリ回数が減少し、外出制限で運動不足や活動量の低下を招き、人との接触が減少して精神面や認知機能面にも影響が出ていることが窺われました。主治医や福祉の担当者に相談して、可能な範囲で医療や福祉サービス利用の継続をしてください。

室内でできる体操を取り入れるなど運動不足解消の工夫も必要です。その際には、くれぐれも転倒にはご注意ください。

気になる症状があれば早目にかかりつけ医にご相談ください。

令和3年2月

スモンに関する調査研究班 研究代表者

国立病院機構鈴鹿病院長 久留 聡